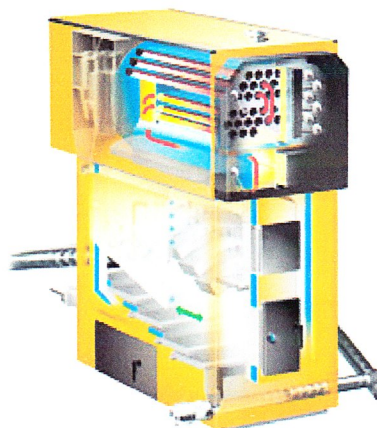


水冷式可動火格子タイプボイラ UTSW シリーズ

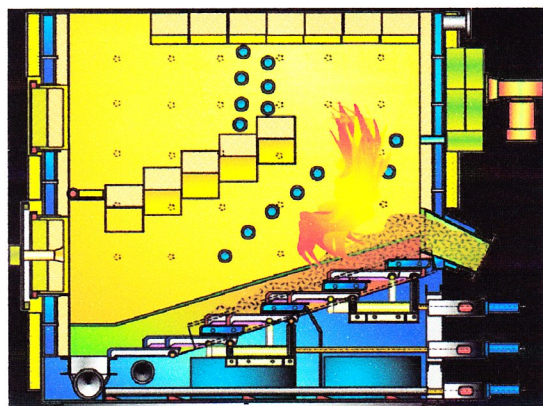
燃料は木質だけでなく、低含水率、高発熱量、灰分が多い、などの固形燃料の場合には燃焼炉水冷壁及び水冷式可動火格子を搭載する **UTSW シリーズ** をご選択ください。

■ UTSW シリーズの特徴

1. 燃やしやすく、高熱量が発生する燃料を使用する場合は、炉と火格子の水冷壁及び一時空気によって炉内を冷却し、炉内が異常に高温にならないように制御し、燃焼させる。
2. 火格子に傾斜がある為、燃料が停滞せずに前に送られ、投入燃料が燃焼しやすい構造である。
3. 燃焼後に大量に出る灰は、火格子下の自動灰出し用プッシュフィーダーによりかき集められ、スクリーンによって外に排出される。



UTSW 燃焼炉内の構造



■ UTSW シリーズの主な仕様

水冷式可動火格子タイプ

火格子構造：階段状火格子

出力範囲：300～1600KW

最大発熱量：17MJ/kg (4.72KWh/kg)

最小発熱量：7.0 MJ/kg (1.94KWh/kg)

水分率：5～45%

冷却媒体：還り温水による

出力制御：30%～100% (比例)

■ UTSW シリーズ対象燃料

乾燥木質チップ、乾燥残材、リサイクル木材、各種ペレット、穀物・もみ殻類・鶏糞等の種々の燃料

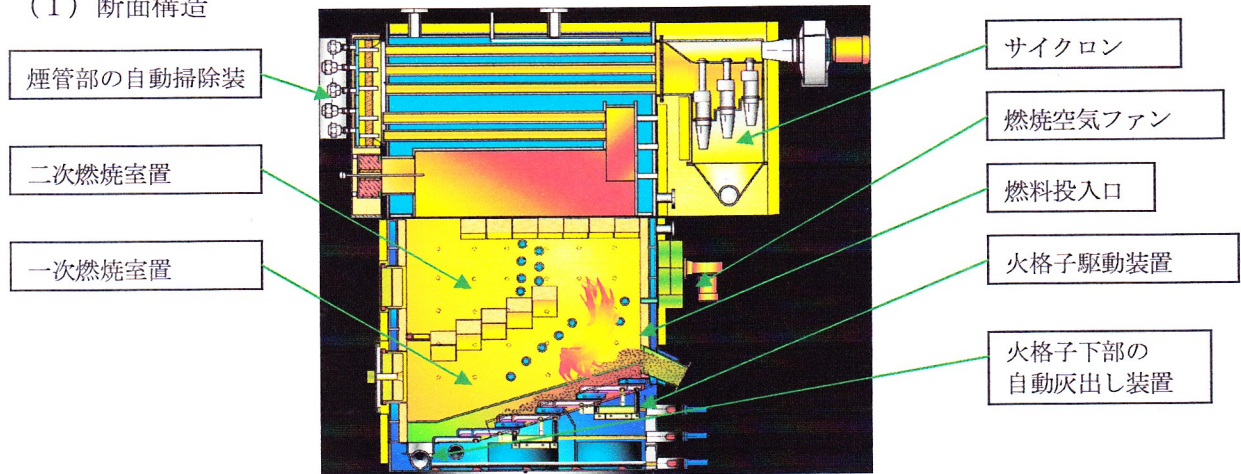
■ UTSW シリーズの燃焼と制御

UTSW シリーズは大気汚染防止法上のばい煙発生施設で「固形燃料ボイラー」に区分されます。

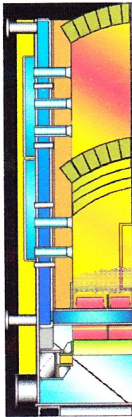
30%～100%出力運転時では、炉内燃焼温度は燃料条件にもよりますが基本的には 800℃～900℃に安定的に維持され、また燃焼ガスと空気（4 系統）の混合は、最適燃焼を継続できるように常に制御されます。但し、排気ガス中の成分は利用者側の使用する燃料によって変わることをご留意ください。

■ UTSW シリーズボイラ構造

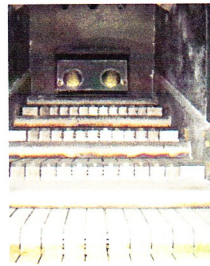
(1) 断面構造



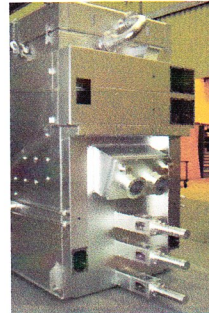
(2) 燃焼炉の壁側面水冷壁構造



(3) ボイラ主要部分



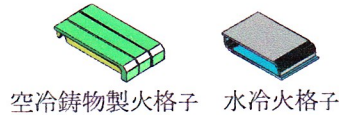
階段状火格子



ボイラ缶体背面



ボイラ正面



■ UTSW シリーズ寸法図

(注) 無圧開放式での開放タンクの高さは含みません。

シリーズ番号	出力 KW	長さ mm	幅mm	高さ mm (注)
UTSW-300	300KW	2960	1250	2950
UTSW-360	360KW	2960	1250	2950
UTSW-450	450KW	3450	1440	3280
UTSW-550	550KW	3450	1440	3280
UTSW-700	700KW	4120	1600	4050
UTSW-900	900KW	4120	1600	4050
UTSW-1200	1200KW	4490	1800	4750
UTSW-1600	1600KW	5090	1800	4750

株式会社 巴 商 会
株式会社 トモエ テクノ
 〒105-0022 東京都港区海岸2丁目1番16号
 TEL 03-3254-2514 FAX 03-5256-0655